

野鳥観察会（平成 31 年 1 月 20 日開催）

北川捷康さんを講師に迎え、「野鳥観察会」を開催しました。

参加者は大人 16 人子ども 5 人の計 21 人でした。

1 講師から事前説明

水鳥は、主に水草の根や茎（くき）を食べており魚を食べる種はカワウなどまれです。また、ハシビロガモなど水中のプランクトンを食べる水鳥もいます。

カモの仲間は夜行性であり夜間にエサを食べて昼間に睡眠をとりますが、ノスリなどの外敵から身を守るため群れで固まりながら 10 秒間位寝て目覚めることを繰り返しています。



2 野外観察

ビジターセンターを出発して、鹿島神社方面の観察路から講師の説明を受けながら観察を始めました。トンボロードへ出る手前でシロハラが見られましたが、その後は野鳥の声は聴けましたが姿は見られませんでした。



観察小屋Aから多数のマガモに混じり、コガモ、オナガガモ、カイツブリが見られました。



藤棚（ふじだな）の横にあるハゼの木には、野鳥がよく集まります。



アオサギがとまっていました。



3 まとめ

ビジターセンターへ戻りまとめを行いました。今回観察した野鳥は12種類でした。



4 双眼鏡贈呈式

桶ヶ谷沼の西側で操業されているイワレキ（磐田瀝青舗材事業所）様から双眼鏡が寄贈されました。イワレキでは、工場内から発生する空き缶、新聞紙、コピー用紙やダンボールなどを分別する環境活動を行っています。その活動の収益金を桶ヶ谷沼の保全のために役立てて欲しいというご厚意により、「NPO法人桶ヶ谷沼を考える会」へ双眼鏡が寄贈されることとなりました。今回の野鳥観察会に先立ち、贈呈式が開催されました。

